

## R8.3.23 GH かさと地域連携推進会議 会議進行

### <開会あいさつ>

- ・理事長より（廣田 代読）
- ・廣田より

本日は、お忙しいところお時間をいただきまして、ありがとうございます。

日頃より事業運営にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。

私は志津川福祉の園 施設長ならびにグループホームかさとの管理者の廣田知子と申します。こちらは志津川福祉の園 副施設長 ならびにグループホームかさとのサービス管理責任者の青井久弥です。よろしくお願ひ致します。

グループホームかさは、この笠取の場所にご縁をいただき、平成 22 年（2010 年）5 月に開設以来、16 年目を迎えます。10 名のご利用者様が日中、志津川福祉の園に通所され、夕方から朝、週末（一部自宅に帰省される方がありますが）を過ごす住まいの場所として運営しております。志津川福祉の園がバックアップ施設という形で管理運営しております。また、今回は、地域連携推進会議 構成員にお声掛けさせていただきましたところ、皆様ご快諾くださいましたこと、感謝申し上げます。

本日開きます、地域連携推進会議は、国の制度により「居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になるおそれのあるグループホームに地域の関係者を含む外部の方の目を定期的に入れる事で、事業運営の透明性を高め、一定の質の確保に繋がるものと考えられ、介護分野の運営推進会議を参考とした仕組みを導入することが有効と考えられる」との見解から令和 6 年度は努力義務、令和 7 年度は義務化されました。会議の実施と会議の構成員さんが事業所を見学される機会を年に各 1 回以上開催することになっています。が、今年度は準備の関係上、会議と見学を一回にさせていただきましたことをお許しください。

### <出席者のご紹介>

地域連携推進会議の目的を踏まえて、会議の構成員は、利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人、施設等所在地の市町村担当者などを想定しており、有意義な意見交換ができる人数として、5名程度が望ましいです。

1. A様（ご利用者様）
2. B様（保護者）
3. C様（地域関係者）
4. D様（地域関係者）
5. E様（地域関係者）
6. F様（地域関係者）

任期は二年で再任は妨げない形ですが、再任が難しい場合、可能であれば、構成員さんから後任の方をご紹介いただければありがたいです。

#### <会議進行>

今日については、初めてですので、概要をお伝えしたいと思います。ご質問、ご意見など後ほどお時間を設けたいと思っています。

#### ・構成員さん自己紹介

#### ・地域連携推進会議の目的

先程冒頭でもお伝えしましたが、今年度からグループホームで義務化された会議で、構成員さんを選定し、その目的は、4つあります。

#### 一つ目は、利用者と地域との関係づくり

利用者が地域の一員として生活を送るためには、利用者と地域との関係づくりが重要です。会議や構成員による訪問を通じて、利用者と地域の人との顔の見える関係を構築することで、日頃からお互いに声を掛け合えたり、利用者が地域行事に参加しやすかったりするような、利用者が地域の中でより良い生活を送るための関係づくりを目指します。

## 二つ目に、**地域の人への施設等利用者に関する理解の促進**

地域連携推進会議は、その名称からもわかるように、会議の開催や会議の構成員によるホームへの訪問を実施することにより、地域に開かれたホームになることを目指す会議体です。地域に開かれたホームとなることで、障害のある方のホームでの生活に対する理解を促進するとともに、ホームとその職員と地域の人との繋がりづくりを推進することを目的としています。

また、私たち職員が地域の人を知るきっかけにもなり、職員と地域の方の双方による理解が深まります。こうして地域との連携が深まることで、地域での事業運営がしやすくなり、効果的な事業運営に繋がることが期待されます。

## 三つ目に、**施設等やサービスの透明性・質の確保**

通所系のサービスと比較すると、外部の目が入りにくくなりがちな施設等を運営する事業者についても、地域に開くことにより施設等の運営やサービスの透明性を確保するため、地域の関係者等を含めた構成員による地域連携推進会議の開催及び当該構成員が地域連携推進員として施設等を訪問する仕組みの構築が重要となります。

最後に、**利用者の権利擁護** です。

ホームでは、利用者が障害により言葉で意見を伝えることが難しい場合も多いため、利用者の思いがサービスに活かされているか、利用者が希望する生活を送ることができているかなど、会議の中で話し合われることが重要です。なお、意見表出そのものが難しい利用者に対して、ホーム側としても利用者の意思決定支援にどのように取り組んでいるか等を、地域の人に伝える良い機会にもなります。

また、施設等を訪問した際、利用者の個人情報に触れる可能性があるため、利用者の個人情報の秘密保持をお約束ください。

・ご入居されているご利用者様・日常生活について（家賃等必要経費）

【ご利用者の説明】…

現在、ご入居されているご利用者は男性8名女性2名の合計10名です。年齢層と致しましては40代(4名)50代(5名)60代(1名)となっております。

ご利用者の障がい特性といたしましては、大きく分けさせていただいて「知的障害、精神疾患、内臓疾患、てんかん発作、自閉症、ダウン症など」をお持ちののです。

「自閉症」とは、“人との関係に強い緊張をもたれる為、社会的コミュニケーションをとる事が苦手”“特定のものに強い興味やこだわりをもって何度も同じことを繰り返す”といったことが特徴です。

「ダウン症」の特徴としましては“言葉や発達がゆっくりなことや、また心臓や消化器系などの合併症”が見られることがあります。性格としましては“人づき合いが上手で陽気”な方が多いです。

「てんかん発作」の特徴としましては、“疲れやストレス、光などの刺激を受けた際に脳の中で過剰な電気活動が起こり、意識を失ったり、けいれんを引き起こす”という症状です。

GH かさとりにご入居されているご利用者の皆さん、知的に発達の障害をおもちではありますが、基本的に言葉によるコミュニケーションが可能です。

今までお話ししたような障害特性に合わせた関わり方や支援を心がけています。

【日常生活について】…

掃除、洗濯、食事などの日常生活については、ご利用者各々の出来る部分を尊重しながら、おひとりでは難しい場面などフォローしております。

- ・食事につきましては、ライフサービスさんという業者様が献立を組み、その食材がGHにまで配達されるという形になっております。また、カロリー計算や栄養面にも配慮されたメニューとなっていることが、ご利用者の体重や健康面にも良い影響が出ていると思います。(B様(保護者)より、ご息が

GHに入居してから体重が減った。カロリーが管理されていると話された。）

【必要経費について】 …

一か月のGH利用料として「家賃 20,000 円、食費 20,000 円、光熱費や日用品費等 10,000 円」お支払いいただいております。

#### ・グループホーム支援職員について

平日、基本的に支援員 1 名世話人 2 名体制でご利用者の支援に当たり、20:00～翌 9:00 迄を夜勤職員が 1 名で対応しております。

#### ・志津川福祉の園について（パンフレットをもとに説明）

全入居者が日中作業を行っており、ホームのバックアップ施設であること。

#### ・BCP（業務継続計画）について（別添資料）

**災害時**：京都府のハザードマップによると、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域および地震予想震度 5～6 度の区域であること。

**感染症対策**：常時、手洗い、消毒、食事時のパーテーション設置等、感染者発生時は個室対応、入浴トイレの個別化の実施

※また、今年度より AED を導入（レンタル）し、万が一の場合に備えています。

### <ホーム内見学>

#### ●質疑応答

・日中には、GH 入居ご利用者が志津川福祉の園へ登園されている為、触れ合う機会がなかなか持てない事が残念である。（C様より）

→コロナの前はバーベキュー等を通して地域の方との交流する機会があった為、また何かの形で地域との交流が出来たらと思う。わいわいカーニバル案内も。

・現在 GH 入居者が支払っている必要経費が少なすぎるのではないかと感じる。経営に負担が生じていないか心配である。（B（保護者）様より）

→また今後、情勢によりご協力ご負担いただく事があるかも知れませんが現状、今お支払いいただいている中(補助含む)で運営が出来ております。

- ・玄関外の防犯カメラについて、抑止力を高める為、「カメラ撮影中」の看板があればよいのでは。(E様より)

→外部からの侵入者防止のため検討したい。

- ・災害時、避難場所は笠取小学校になっているが、避難誘導した方がいいか、待機した方がいいか？(D様より)

→無条件に避難誘導となると、移動することでリスクが高まる事もあり、居場所の把握は連携して取っていききたい。

#### <閉会あいさつ>

ご出席いただき、ありがとうございました。今後も事業運営へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。次回は来年度9月14日(月)10時~開催予定しております。(その場で構成員の予定を確認して決定した)前もってご案内状を送付させていただきます。本日はありがとうございました。